

令和5年第12回刈谷市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年12月21日（木） 午後2時00分

2 場 所 刈谷市役所 7階 701会議室

3 議事日程

第1議事 前回会議録の承認について

第2議事 教育長報告

第3議事 承認第22号 令和5年12月刈谷市議会定例会提出議案（令和5年度刈谷市教育費12月補正予算（第6号））に関する意見について

第4議事 部課長報告

各課定例報告

令和5年12月議会一般質問、市民文教委員会質問事項報告

学校訪問等から要望・提言したいことについて

4 出席委員

教 育 長	金 原 宏
委 員	小 川 耕 示
(教育長職務代理者)	
委 員	鶴 田 英 孝
委 員	石 田 芳 加
委 員	浅 井 優

5 委員以外の出席者

教 育 部 長	岡 部 直 樹
学 校 教 育 課 長	加 藤 祐 介
生 涯 学 習 課 長	石 川 晴 雄
スポーツ振興監兼スポーツ課長	坂 東 知 道
教育総務課課長補佐	加 藤 史 彦
教育総務課総務係長	溝 口 香 織
教育総務課総務係主任主査（書記）	落 合 愛

6 欠席者

教 育 総 務 課 長	石 崎 伸 一
-------------	---------

開会宣言

会議開始時間 午後2時00分

【第1議事】

教育長：第1議事 前回会議録の承認について上程

教育総務課総務係長：前回定例会の会議録について訂正が無い旨を報告

教育長：第1議事について質疑を許可

質疑なし

第1議事

承認

【第2議事】

教育長：第2議事 教育長報告について上程

教育長報告

- | | | |
|------|----|-------------------------|
| 11 / | 14 | ・研究発表会（かりがね小学校） |
| | 15 | ・学校訪問（小高原小学校） |
| | 16 | ・議会運営委員会 |
| | | ・定例記者会見 |
| | | ・東海北陸都市教育長協議会役員会 |
| | 17 | ・東海北陸都市教育長協議会役員会視察 |
| | | ・市民大学講座（平山優） |
| | 18 | ・刈谷医師会懇談会 |
| | 19 | ・愛知教育大学創基150周年式典 |
| | | ・森三郎童話賞全国募集表彰式 |
| | 20 | ・行政経営会議 |
| | 21 | ・三河部都市・町村教育長協議会 |
| | 25 | ・亀城小学校150周年記念式典・記念行事 |
| | 26 | ・令和5年度刈谷市民文化祭美術展表彰式 |
| | 28 | ・校長会 |
| | 29 | ・本会議 |
| | 30 | ・本会議 |
| | | ・刈谷商工会議所 女性会・青年部合同公開講演会 |
| 12 / | 1 | ・本会議 |
| | | ・予算審査特別委員会 |
| | 2 | ・第16回愛知県市町村対抗駅伝競走大会選手激励 |
| | 4 | ・行政経営会議 |
| | | ・サンモリユ下條視察 |
| | 5 | ・臨時校長会 |
| | 6 | ・刈谷市学校保健会役員会 |
| | | ・二十歳の集い実行委員会リハーサル |
| | 8 | ・市民文教委員会 |
| | 11 | ・西三河教育事務所訪問 |
| | | ・刈谷市小中学校PTA連絡協議会情報交換会 |
| | 13 | ・美術館 刈谷っ子ギャラリー |
| | | ・教科指導委員会 |
| | 14 | ・行政経営会議 |
| | 15 | ・議会運営委員会 |

- ・ 予算審査特別委員会
- 16 ・ 舞台「ねじまき鳥クロニクル」鑑賞
- 17 ・ 刈谷文化協会表彰式
- 18 ・ 本会議
- 19 ・ いじめ問題対策連絡協議会
- ・ 表敬訪問（優秀教員表彰報告）

教育長：第2議事について質疑を許可

===== 質疑なし 第2議事 承認 =====

【第3議事：承認第22号】

教育長：第3議事 承認第22号 令和5年12月刈谷市議会定例会提出議案（令和5年度刈谷市教育費12月補正予算（第6号））に関する意見について上程

教育部長：承認第22号について説明

教育長：承認第22号について質疑を許可

石田委員：毎年このような修学旅行費補助の予算を組んでいましたか。

教育部長：新規事業となります。これまで修学旅行費につきましては、全額保護者の積み立てにより行っておりましたが、令和6年度からの修学旅行については、市として予算を補助するという形で考えております。

浅井委員：この補助金の額の中で、修学旅行の予算は収まりますか。

教育部長：今回の補助額の考え方としては、今年度の小中学校の修学旅行の実績を元に交通費、宿泊費相当を賄えるようにと設定させていただきました。交通費としては、新幹線を利用するか、バスを利用するかにより金額が大きく異なりますが、新幹線を往復利用する前提で積算しました。施設入場料などの不足分については、保護者負担になります。

教育長：大まかに修学旅行費は一人当たりいくらかかりますか。

教育部長：小学校では24,000円から33,000円程度です。中学校では48,000円から54,000円程度となっております。

石田委員：どのような経緯でこの案が出ましたか。

教育部長：市長の経済的な子育て支援施策の中に、教育費にかかる家計の負担の軽減があり、具体的な内容を検討した結果、修学旅行の積立金が多いところでは、ひと月7,000円程度となり家計の中で負担となっているため、学校活動の一つである修学旅行の交通費や宿泊費については市で負担してもよいのではないかという案になりました。

浅井委員：よい事業だと思うが、どのように周知しますか。

教育部長：対象の保護者には、通知を出す予定でおります。近隣で実施しているところが少

ないため、議会での説明により広く周知されるものと思います。

第3議事 承認第22号

承認

【第4議事：部課長報告】

教育長：第4議事 各課定例報告について上程

教育総務課課長補佐：1月分給食献立、1月分アレルギー献立表について説明

学校教育課長：12月1日現在の児童・生徒数について説明

1月分行事予定について説明

生涯学習課長：11月分生涯学習関係施設利用状況について説明

11月分市民休暇村客室等稼働状況について説明

11月分総合文化センター、図書館の利用状況について説明

総合文化センターの今後の予定案内

スポーツ振興監兼スポーツ課長：11月分体育施設使用状況について説明

1月分行事予定について説明

教育長：第4議事 部課長報告のうち、各課定例報告について質疑を許可

浅井委員：学校行事の「卒業期中学校生徒指導懇談会」とはどういったものですか。

学校教育課長：例年2月に行っておりますが、市内6中学校の校長と警察と教育長と学校教育課長により卒業式が無事に行われるかどうかを確認するものです。

石田委員：職場体験学習について、職場体験先はどのように選ぶのですか。

学校教育課長：学校教育課で、職場体験の事業所リストを作成し、その中から子どもたちが職種を選んで学校が割り振ります。

石田委員：リストはどのように作成されていますか。

学校教育課長：市内6中学校で、何年かの間に職場体験を実施してきた訪問先の事業所のリストを作成し、その後学校が新たな事業所を開発した場合は、追加しております。

教育長：ここで、小川委員は所用により退席されるため、議事が前後しますが学校訪問の感想やご意見等をお願いします。

小川委員：ちょうどICT機器がコロナ拡大のタイミングにより急遽学校へ導入されてきました。今回、学校を回らせていただき、コロナ対策とは関係なく、ICTを積極的に活用している学校もあれば、従来の形で授業等を行っている学校と、それぞれありました。こうした状況ですが、来年はもう少し横の連携を図って、それぞれの学校でICT機器が積極的かつ有効に使われるようになったらよいと思いました。

コロナ対応で本当に先生方が頑張って、それを乗り越えていただいたので、さらにまた教育委員会の方で、そういったものをさらにブラッシュアップしていただけたらというのが私の感想です。

教育長：それでは、小川委員はここで退席いたします。

(小川委員退席：午後２時３２分)

教育長：第４議事 部課長報告のうち、令和５年１２月議会一般質問、市民文教委員会質問事項報告について上程

教育総務課課長補佐：以下の答弁内容について説明

一般質問

- ・刈谷市政の課題について（星野雅春議員）
- ・物価高から暮らし応援の施策充実・拡充について（山本シモ子議員）
- ・通学路の安全安心について（武藤美智代議員）
- ・市長の選挙マニフェストについて（鈴木絹男議員）

市民文教委員会

- ・（補正予算）設備等改修事業について（鈴木定晴委員）

学校教育課長：以下の答弁内容について説明

一般質問

- ・小中学校の教職員の働き方について（三田真弥議員）
- ・刈谷市の自死について（上田昌哉議員）
- ・児童生徒の居場所になる学校図書館の実現について（城内志津議員）
- ・ジェンダー平等社会の前進について（山本シモ子議員）
- ・スポーツを盛り上げるための環境整備について（伊藤愛恵議員）
- ・小中学校吹奏楽部の現状と課題について（外山鉦一議員）

市民文教委員会

- ・（所管）特別支援学級について（上田昌哉委員）
- ・（所管）教員の増員について（森島公祐委員）

生涯学習課長：以下の答弁内容について説明

一般質問

- ・カーボンニュートラルの実現について（佐々木隆教議員）
- ・放課後児童クラブと学校の連携強化について（伊藤愛恵議員）
- ・ＡＥＤの設置拡大について（谷口睦生議員）

市民文教委員会

- ・（所管）城町図書館の閉館について（鈴木定晴委員）
- ・（所管）城町図書館の閉館について（武藤美智代委員）

スポーツ振興監兼スポーツ課長：以下の答弁内容について説明

一般質問

- ・スポーツを盛り上げるための環境整備について（伊藤愛恵議員）
- ・２０２６年アジア・アジアパラ競技大会について（佐原充恭議員）

市民文教委員会

- ・（所管）スポーツ施設の指定管理のレベルアップについて（伊藤愛恵委員）
- ・（所管）スポーツ事業について（鈴木定晴委員）
- ・（補正予算）ウィングアリーナ刈谷等施設改修事業（拡充分）について（鈴木定晴

委員)

教育長：第4議事 部課長報告のうち、令和5年12月議会一般質問、市民文教委員会質問事項報告について質疑を許可

鶴田委員：地方創生臨時交付金とは、昔コロナ対策として出された交付金と同じと考えてよろしいでしょうか。

教育部長：コロナ対策と電気やガスなどの物価高騰対策と合わせて、市町村の裁量で自由に使える交付金で、過去にも何度か交付されているものです。

鶴田委員：使途については、かなり自由に使えるものですか。

教育部長：国から推奨メニューが示されており、それに対応する内容で申請しています。

鶴田委員：臨時ということですが、給食費の補助については今回限りなのでしょうか。

教育部長：給食費の補助を将来恒久的に実施する点については、市全体で見たときに他の施策との兼ね合いなども含め、慎重に考える必要があると考えています。

石田委員：地方創生臨時交付金というのは使う時期が決まっているのですか。

教育長：緊急経済対策という側面がありますので、6月に国の補正予算で組まれた交付金は年内に実施するよう求められております。

教育長：次に、学校訪問を振り返り、委員の皆様にご感想や意見、提案等をお聞きしたいと思います。

石田委員：コロナ禍を経て3年目になり、疲れが見える時期かと思いますが、先生方の工夫がみられたのが印象的でした。特にICT機器のタブレットやプロジェクターの授業での活用度が高いと感じました。教員のみなさんからも大変使いやすいとの声が聞こえましたし、活用度の幅が広がったとも感じました。その一方で、保護者やお子さんが実際にどう感じているか、声が聞ける場があるとよいとも思いました。

私はこれまでも、人と人との対面でのコミュニケーション力が必要とお話してきましたが、ICTの活用が進んでいくと、人との関係が希薄になってくる人ももちろんいると思います。だからこそ学校があることで、小さな社会でのやり取りができる。そんなことを踏まえて現場を回していただいていると感じました。

教育大綱に、「共に生き、未来を創造する子ども」とありますが、創造するには心身が健やかであることがとても大事だと思います。学校訪問では、元気に挨拶をしてくれたり、小走りで運動場にかけていく姿を見ることができ、純粋に感動しています。

ICTに関しては、当初は学校ごとに得意不得意の差がすごくあったように感じましたが、そういった差が縮まってきたと感じました。

また、先生方からは、声を発することがハラスメントになる可能性があるということに悩みを抱えているとの声を聞き、先生方が心を痛めていると感じました。

時代の流れが本当にスピーディーに進む世界の中で、子どもたちが何を大切に思

い、優先することは何なのかという価値観も本当に変わってきていると思います。変わってきている中で、教育をより良く進めていくというのは、とても大変であると感じますが、その様な中でも、先生自身が教育を興味深く面白いと感じ、勤めていただくということも、大変大切だと感じました。

鶴田委員：今年の訪問では、学校サポーターの方のご紹介を多くしていただきました。私が思っているよりはるかに多くの方に参加していただいている。話を聞くと、学校サポーターにはプールの監視や掃除、部活のサポートなどもしていただいているとのことで、いいスタートが切れたと感じました。

訪問の中で、本当に先生方には一生懸命やっただいていただいていると感じました。昇降口で出迎える、教室で迎える、黒板に何か書いて待っている、休憩時間まで歩いて子どもたちの顔を見ているなどの様子を普通に話されていましたが、とても大変なことだと思います。また授業をしている中で、子どもたちの様子を見てその場で授業の進め方を変えているとも聞きました。子ども一人一人に、本当に寄り添ってもらっているのが、ありがたいと思いました。

振り返りについても工夫を見られ、ある学校では振り返りの振り返りを行ったり、授業の終わりにまた振り返りを行うなど、子どもを取りこぼさない取組をしているなど感じました。

また、中学校では校則の見直しなど、生徒が中心となった自主的な動きがみられました。

最後に要望ですが、各学校に行くと、ものすごく学校ごとに特徴がある。違っていいのですが、せっかくいいことをやっているのに、その学校だけでなく、横に広がっていけばよいと思います。

浅井委員：一点目として、これまで、学校での授業の進め方や課題設定の方法が、社会に出てからに繋がっていないのではないかと感じていたのですが、今回授業を見させていただいて、いかに学校の授業で行っていることが、実際の社会でこんな風につながっているのだと感じられる授業展開になってきていると感じました。

もう一点は、世の中に出たときに子どもたちがどうやって生きていくのかを養うのが学校で、一番初めの集団活動が学校だと思います。最近、世間では政治家の派閥や企業の不祥事のニュースが取り上げられております。不祥事を起こした人たちも、もちろん悪いことであると認識していると思いますが、集団の中でよいと思い、やってはいけないことをやってしまう。そういったことが起きないような世の中にしたいと考えたとき、集団活動の一番基礎の基礎である学校で、子どもたちに対し何かできたらいいと感じました。

教育長：私からは四点ほどお話ししたいと思います。

一点目は、授業に活気があるということです。子どもが夢中になる教材が開発されている。子どもの意欲が高まる問題解決的な単元の構想がされている。ICTによって子どもの個々の意見とか全員の意見が集約できて表示されている。以上から授業

に活気があると感じました。

二点目は、子どもが主体的に活動をしている。実際に子どもたちが、生徒会や児童会や委員会での主体的な活動をしている姿を見ることは少ないのですが、掲示物や先生たちの話の中からよく伝わってくるということです。いじめ防止の活動や校則見直しプロジェクトなど、よりよい学校を作っていこうという子どもたちの熱意を感じるということでもあります。そして、「ありがとう放送」、「キラキラみつけ」など、ありがとうがあふれる学校づくりが子ども中心に行われているのがよいことだと思っております。来年は全校をあげて、ありがとうがあふれる学校づくりをテーマとしたいと考えております。

三点目は、学ぶ先生たちの姿勢が子どもたちを育てている。刈谷市では公開授業を多く実施していますが、この公開授業を通して、学年会や教科部会で目指す授業について話し合っている先生がいる、これが素晴らしいことだと思っております。例えばそのために研究をし、講師をお招きして、講師のご指導をいただきながら、自分自身の力を高めようとしている先生たちがいるという、ここに刈谷の良い風土がある。この良さをこれからも繋げて、充実させていきたいと思っております。

四点目は、授業を楽しむような先生たちの余裕や笑顔が出てきたらいいと思います。今はまだ授業をするので精一杯という風に思っておりますが、こういう教材にして子どもに見せたら喜ぶから、今日の授業が楽しみだとか、子どもたちがこんなところで喜んだのがよかった、授業を楽しむような、先生たちにそんな余裕と笑顔が出てくるといいなと感じます。これは来年への課題であると思っております。

第4議事

部課長報告

承認

教育長：その他全体を通して質疑を許可

教育長：事務局連絡事項を許可

教育総務課総務係長：次回教育委員会定例会の日程等について確認

教育長：以上をもちまして、令和5年第12回教育委員会定例会をすべて終了いたします。

会議閉会時間

午後3時15分

教 育 長